

平成30年11月 岡崎市文化財保護審議会会議録

開催日時：平成30年11月19日（月） 午後1時30分～午後4時30分

開催場所：岡崎市役所西庁舎7階 西702号室

出席委員：8名

加藤安信委員（会長）・野本欽也委員（会長職務代理者）・内田尚之委員・
荻野嘉美委員・奥田敏春委員・杉坂美典委員・山田伸子委員・渡邊幹男委員

欠席委員：鷹巣純委員・杉野丞委員

説明のために出席した事務局職員：7名

社会教育課：小野鋼二次長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係長・岡山
幸男主任主査・山口遙介主査・中村雄太主事・中根綾香主事

傍聴者：なし

議事内容

1 諮問事項

岡崎城跡石垣保存修理工事について

2 協議事項

（1）歴史文化遺産解説板の設置について

（2）市指定史跡松平広忠公御廟所（松應寺）の現状変更について

（3）市指定天然記念物指定について【非公開】

3 報告事項

（1）市指定史跡岡崎城跡の現状変更（台風被害復旧）について

（2）市指定史跡岡崎城跡の現状変更（イルミネーション）について

4 その他

議題及び議事の要旨

1 諮問事項

岡崎城跡石垣保存修理工事について

【社会教育課説明】

岡崎城跡石垣保存修理基本計画に基づき、危険度A判定とされた石垣の修理を行いたい。この内容については、岡崎城跡整備委員会で既に協議をしている。この工事は、岡崎城跡の石垣の保存修理を目的とした工事であり、掘削を伴うものではない。石垣の解体等は伴わず、石垣本体の改変は最小限に抑えられる。天端石補強については、欠落部分に土嚢を詰めて行う。不安定な天端上部石材の撤去を予定している。石垣上面の整地については、盛土を行い、芝を張る。築石の補修は、現状の築石の前面に石材の接着補充を行う。これらの工事を実施することによる史跡への影響は少ないと考えている。

【質疑応答】

委員：土嚢の色は景観にあったものか。耐久性はどうか。

事務局：前例として竹田城を参考にしている。応急措置ではあるが、なるべく耐久性のあるものを使いたい。

委員：芝の種類は何か。

事務局：野芝。龍城堀の南側斜面で使用しているものと同じ。

委員：石垣の立面図を見ると、石垣の方へ水が流れるように見えるが良いか。
事務局：急な斜面にすると崩れてしまうため、傾斜をゆるやかにしている。現状のまま放置するよりは改善できると考える。
委員：石垣にシダ植物が生えていないので、水はたまっていないのではないか。
委員：雨が浸み込んで、石垣が緩んできたり、孕んできたりする恐れがあるということなのではないか。
委員：築石は岡崎の花崗岩か。
事務局：石材は岡崎産の花崗岩を用いる。加工についても、可能な限り配慮して使用したい。

諮問結果：可とする。

2 協議事項

(1) 歴史文化遺産解説板の設置について

【社会教育課説明】

事業課としてはまちづくりデザイン課であるが、社会教育課で設置場所や板面等を計画しており、社会教育課から一括して説明する。岡崎城跡内のサインについて、様々なものが乱立しており、統一感がない状況である。また、堀や石垣などの魅力を解説するものがない状況である。今回、これらの状況を見直し、新たなサインを設置していく。今年度は、17基設置予定で、平成32年度まで継続して設置していく。設置方法としては、地上にコンクリート基礎を設置し、良質土で盛土する工法で行うため、掘削を伴わず、史跡への影響はない。解説板だけでは書ききれない情報については、QRコードを使用し、インターネット上で確認できる手法を導入する。また、多言語対応ということで、5か国語の対応を予定している。今後、同様の案件について事務局許可で良いかについてもご審議いただきたい。なお、既存看板については、随時撤去を予定している。

【担当課入室】

【質疑応答】

担当課：撤去も含め、平成32年度までの3か年事業として実施する。

委員：金扇がモチーフとのことだが、どのようにイメージされているのか。

担当課：扇を逆さに閉じたイメージで、デザインしてある。

委員：文字が少し小さいのではないか。

担当課：ガイドラインに基づいたフォント・大ききで作成している。文字数が足りない分は、QRコードで補足していく。また、写真についてはこの看板に印刷することが難しいため、わかりやすく図形化したものを載せていく予定。

事務局：補足であるが、QRコードを使用することで、絵図を載せることや音声案内など機能を拡張していくことも可能。

委員：誘導板をたどっていくと天守に着けるのか。不足しているように見える。

担当課：誘導板で全て誘導することは考えていない。案内板など階層別に分かれた看板があり、それらを合わせて確認することで場所の確認は可能。

委員：入口は一つではない。導線はよく検討したか。

担当課：主な入口には、公園案内板を配置している。

委員：リピーターの獲得のためには、魅力の伝え方の工夫が必要。

担当課：市外から来る観光客にとっては岡崎城の中の案内だけではなく、史跡外にも設

置する必要があるのではないか。

担当課：今後、総構えや東岡崎駅にも設置していくことも検討している。

委員：看板だけでなく、アプリの導入は考えていないのか。

担当課：QRコードから飛ぶ仕組を検討している。紙や看板も必要と考えている。

【担当課退室】

委員：馬出しは表示されているか。

事務局：現状は入っていないが、解説の中に入れていくことはできる。

委員：古い看板の一覧も示してほしい。

事務局：設置と撤去のタイムラグはあるかもしれないが、古い看板は全て撤去することになる。また、石造物も含めた再配置を検討している。

委員：事務局から提案のあった同様の案件については事務局許可とするかについては、案件としては、全て審議会に上げていただく必要があると考える。

事務局：そのように対処する。

(2) 市指定史跡松平広忠公御廟所（松應寺）の現状変更について

【社会教育課説明】

松平広忠公御廟所の現状変更について、来年の審議会で諮問を予定している。平成27年9月以降の台風の影響によりき損した土塀・門等の保存修理を行う。

土塀の修復について、残存可能箇所は現状の躯体の上から修理し、全壊箇所は伝統工法で土塀を復元する。復元する瓦の紋が剣銀杏と葵紋のどちらが適切かについて、意見を伺いたい。門修理については、屋根の葺き替え、扉の修理等を行う。基壇修理については、外側に押し出されているので、解体・据え直しを行う。玉垣の修理については、石材に割れが生じているため、割れ部分の接着等を行う。土堤については、盛土・張芝により復元を行う。外周の石材については、墓石などが混ざっているため、据え直しを行う。灯籠については、古写真と同様な状態にするため、若干の掘削を予定している。本来の地盤より掘削するわけではないため、遺構に与える影響はない。史跡内については、排水が全くない状態であるため、暗渠で排水管を設置したい。新規の掘削を伴うが、平成28年度の試掘調査場所に排水管を設置するなど、掘削は最小限に留める予定である。

また、史跡指定外の環境整備として西側排水路、コンクリートブロックの擁壁改修を行い、参道についてもブロックを石敷きに改修する。これらの工事は3か年で計画している。

【質疑応答】

委員：詳細な図面は作成しているか。

事務局：現時点では、詳細な図面は作成していない。

委員：古写真に剣銀杏のデザインが確認できるし、古い瓦にも剣銀杏のものがあることから、瓦の紋は剣銀杏のほうが良いのではないか。

委員：復元的整備は、どの年代のものを復元するのか、という問題がある。

委員：土堤だけを復元するのか。古写真で確認できる竹垣は作らないのか。

委員：裏の駐車場への近道としても使用されているのではないか。

事務局：いただいたご意見を参考に検討していきたい。

委員：来年の審議会で諮問を予定しているとのことであり、今回の意見を参考に詳細な計画を立ててほしい。

(3) 市指定天然記念物指定について【非公開】

3 報告事項

(1) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（台風被害復旧）について

【社会教育課説明】

龍城堀南側の石垣背後が崩落したため、緊急復旧が必要になった。この石垣は、過去に積み直したと考えられるものである。崩落の理由としては、平成30年9月4日から9月5日にかけて通過した台風21号の風雨により、大量の水が土とともに地下に流れたことが原因と考えられる。緊急に復旧を行う必要があることから、崩落箇所の埋め戻しと転圧を行うことについて事務局で許可をした。

【質疑応答】

委員：施工後の報告もしてほしい。

(2) 市指定史跡岡崎城跡の現状変更（イルミネーション）について

【社会教育課説明】

岡崎城跡内にイルミネーション装飾を設置する。手すりや樹木等に設置するものが大部分であるが、堀に設置するものがあるため、今回申請を求めた。イルミネーションの設置にあたり、掘削はなく、法面への設置についても電球が接触しないように設置することから、史跡への影響は少ない。イルミネーションは3年目となるが、現状変更の申請は今回が初めてである。堀への設置があることから、今後も観光推進課に提出を指導し、確認していきたいと考えている。

【質疑応答】

委員：申請の日付が遅いのではないか。もう少し早く出させるべき。

事務局：今後、そのように対応したい。

その他

(1) 次回以降の審議会開催について

次回審議会は平成31年2月22日（金）に実施予定